

県民暮らしのアンケート調査

(平成27年8月実施)

香川県民の暮らし向きや消費の実態・意識を把握するために、「県民暮らしのアンケート調査」を実施した（消費増税の影響等の意識調査も併せて実施）。

調査結果の概要

※四捨五入の関係で計数の内訳と合計の記述が一致しない場合がある。(本文も同様)

- (1) 現在の暮らし向きについて、68.7%の人が1年前と比べて「変わらない」と回答。また、「(やや)良くなった」と回答した人は5.8%、「(やや)悪くなった」と回答した人は25.4%であった。
- (2) 今後1年間の暮らし向きについて、62.3%の人が現在と比べて「変わらない」と予想。また、「(やや)良くなる」と予想した人は5.9%、「(やや)悪くなる」と予想した人は31.8%であった。
- (3) 今後1年間の収入について、55.0%の人が「変わらない」と予想。また、「(やや)増える」と予想した人は8.7%であった。
- (4) 今年の夏のボーナスの使い道について、38.1%の人が「預貯金」の金額を増やすと回答。
- (5) 平成26年4月の消費増税に伴う家計の負担について、85.7%の人が「(かなり・ある程度)負担を感じている」と回答し、その負担感も61.2%の人が増税当初と比較して「大きくなった」と回答。負担感が大きくなった理由としては、「増税分をカバーするほど収入が増えてきていないため」が最も回答割合が高く34.8%、次いで「増税分もそうであるが、ものの値段そのものが上昇しているから」が28.3%であった。
- (6) 再来年の平成29年4月予定の消費税率10%への更なる引き上げについて、13.3%が納得、84.1%が不満と回答。
- (7) 地域内消費の喚起を目的とする県内市町発行のプレミアム付き商品券について、46.0%の人が地域の消費喚起に(どちらかといえば)役立っていると回答。
- (8) 1年後の県内景気について、68.9%の人が現在と「変わらない」と予想。
- (9) 1年後の物価について、63.3%の人が現在と比べて「(やや)上がる」と予想。
- (10) 1年後の消費行動(お金の使い方)について、51.2%の人が現在と比べて節約をしていると回答。

アンケート調査要領

1. 調査期間：平成27年8月24日～8月31日
2. 調査対象：香川県内在住の20歳以上の男女
3. 調査方法：インターネット調査（調査会社の登録モニターによる回答）
4. 有効回答数：531人
5. 回答者の構成と属性

■年代別回答者数

	計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	72	13.6%	30	5.6%	42	7.9%
30代	114	21.5%	59	11.1%	55	10.4%
40代	116	21.8%	60	11.3%	56	10.5%
50代	111	20.9%	53	10.0%	58	10.9%
60代以上	118	22.2%	63	11.9%	55	10.4%
合計	531	100.0%	265	49.9%	266	50.1%

■職業

	人数	構成比
会社員	188	35.4%
公務員	41	7.7%
自営業	52	9.8%
その他	250	47.1%
合計	531	100.0%

■未既婚の別

	人数	構成比
合計	531	100.0%
うち既婚	351	66.1%

■住宅の種類

	人数	構成比
持家（一戸建て）	382	71.9%
持家（マンション等）	35	6.6%
社宅	9	1.7%
借家	105	19.8%
合計	531	100.0%

■世帯主の職業

	人数	構成比
会社員	237	44.6%
公務員	53	10.0%
自営業	74	13.9%
その他	167	31.5%
合計	531	100.0%

■世帯の年収

	人数	構成比
300万円未満	82	15.4%
300～500万円未満	148	27.9%
500～700万円未満	105	19.8%
700～1000万円未満	75	14.1%
1000万円以上	33	6.2%
答えたくない・わからない	88	16.6%
合計	531	100.0%

■世帯の人員

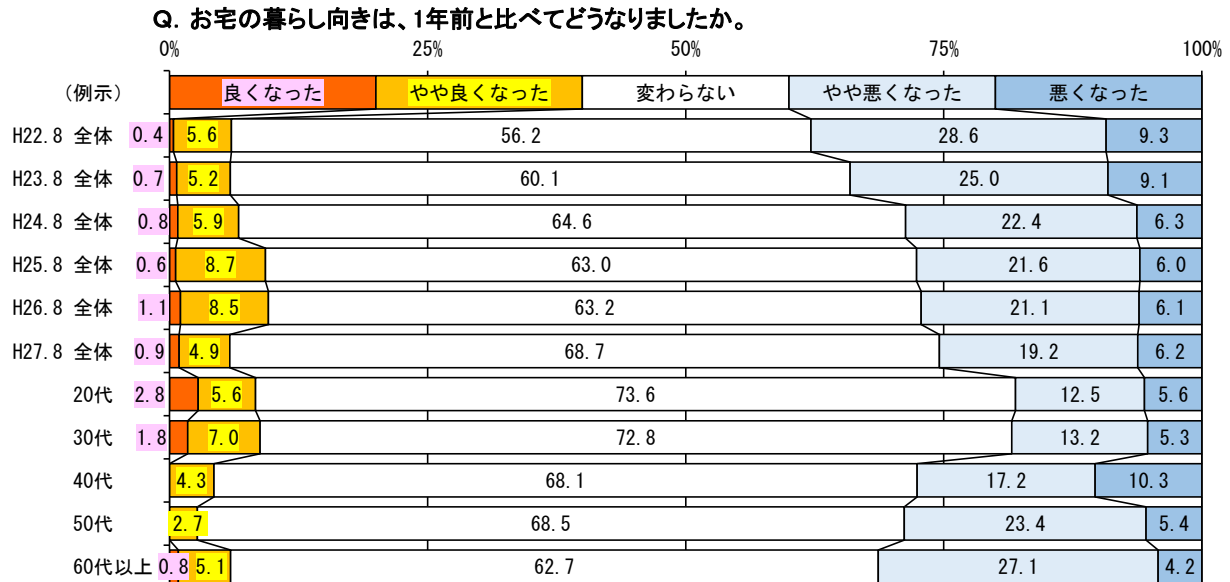
	人数	構成比
1人	58	10.9%
2人	154	29.0%
3人	147	27.7%
4人	115	21.7%
5人	37	7.0%
6人	16	3.0%
7人	4	0.8%
合計	531	100.0%

(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

I. 「暮らし向き」について

1. 現在の暮らし向き（1年前と比べて） ～ 68.7%の人が「変わらない」と回答 ～

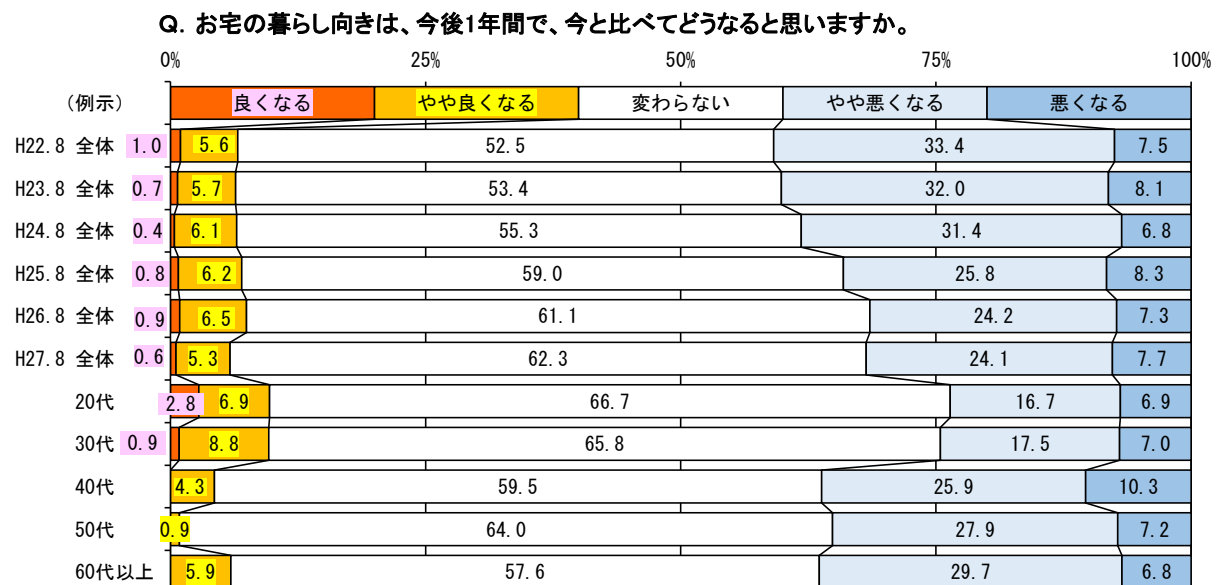
現在の暮らし向きについて1年前と比べてどうか尋ねたところ、「変わらない」と回答した人の割合が最も高く68.7%であった。また、「良くなった」が0.9%、「やや良くなった」が4.9%であったのに対して、「悪くなった」は6.2%、「やや悪くなった」は19.2%であった。



(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H22.8～H26.8は過去実施した調査の結果である。

2. 今後1年間の暮らし向き ～ 62.3%の人が「変わらない」と予想 ～

今後1年間の暮らし向きについて、今と比べてどうなると思うか尋ねたところ、「変わらない」と予想した人の割合が最も高く62.3%であった。また、「良くなる」が0.6%、「やや良くなる」が5.3%であったのに対して、「悪くなる」が7.7%、「やや悪くなる」が24.1%であった。

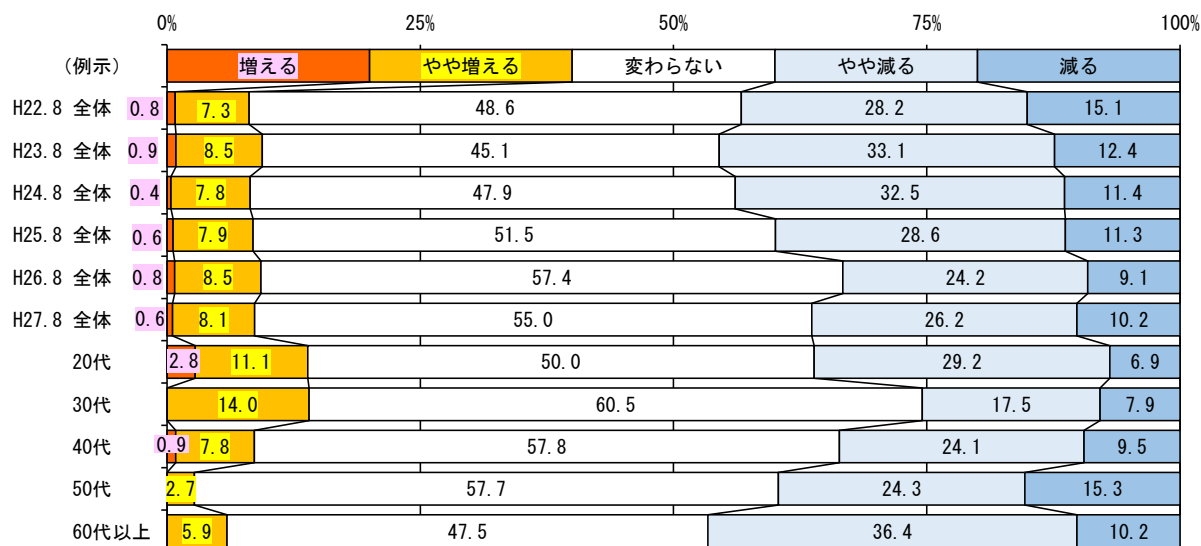


(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H22.8～H26.8は過去実施した調査の結果である。

3. 今後1年間の収入 ～ 55.0%の人が「変わらない」と予想 ～

今後1年間の収入について尋ねたところ、「変わらない」と予想した人の割合が最も高く55.0%であった。また、「増える」が0.6%、「やや増える」が8.1%であったのに対して、「減る」が10.2%、「やや減る」が26.2%であった。

Q. お宅の収入は、今後1年間で、今と比べてどうなると思いますか。



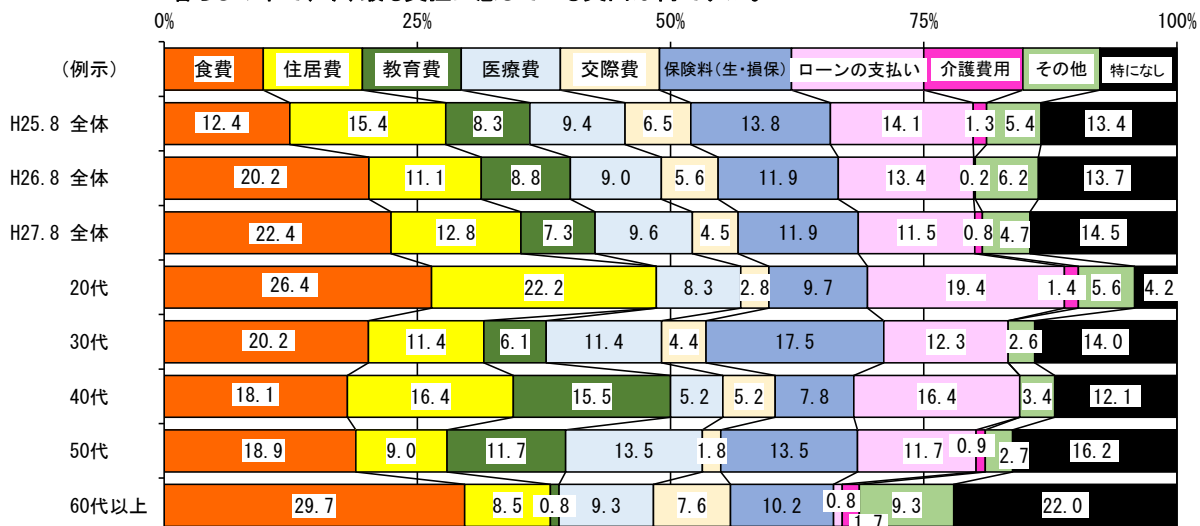
(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H22.8～H26.8は過去実施した調査の結果である。

4. 最も負担に感じている支出

現在、「最も負担に感じている支出項目」を尋ねたところ、回答割合が最も高かったのは「食費」で22.4%、次いで「住居費」の12.8%、「保険料(生・損保)」の11.9%、「ローンの支払い」の11.5%であった。年代別に上位3位までを列举すると、次のように全年代で「食費」の回答割合が最も高くなっている。

20代	①「食費」(26.4%)	②「住居費」(22.2%)	③「ローンの支払い」(19.4%)
30代	①「食費」(20.2%)	②「保険料(生・損保)」(17.5%)	③「ローンの支払い」(12.3%)
40代	①「食費」(18.1%)	②「住居費」、「ローンの支払い」(16.4%)	
50代	①「食費」(18.9%)	②「医療費」、「保険料(生・損保)」(13.5%)	
60代以上	①「食費」(29.7%)	②「保険料(生・損保)」(10.2%)	③「医療費」、「その他」(9.3%)

Q. 暮らしの中で、今、最も負担に感じている支出は何ですか。



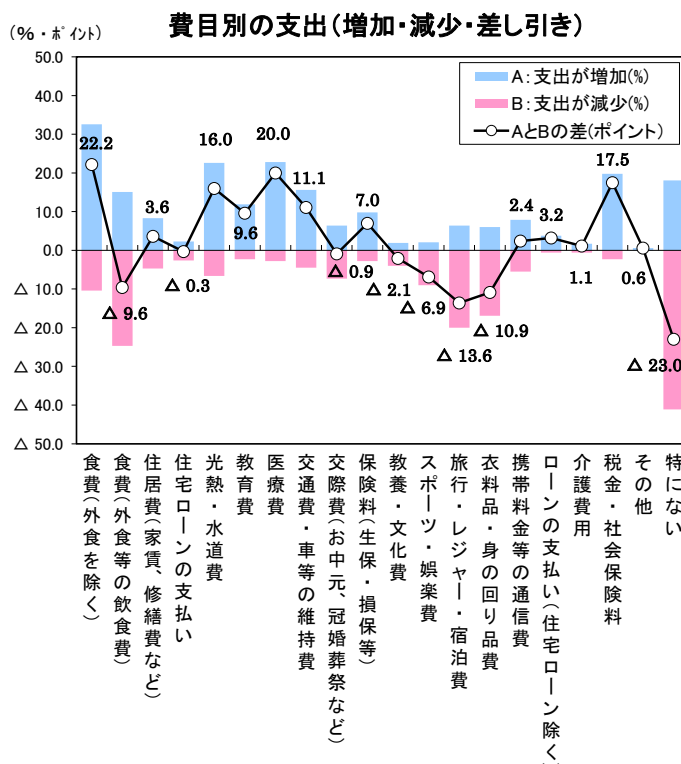
(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

5. 支出が増加した費目・減少した費目

この1年間の支出で「増加した費目」と「減少した費目」について尋ね、各費目を選んだ人の割合を「増加」、「減少」、「増減の差」としてグラフにしたものが右の図である（3つまでの複数回答）。

グラフで費目別に増減の差をみると、支出が増加した費目では「食費（外食を除く）」が最も高く 22.2 ポイント、次いで「医療費」の 20.0 ポイント、「税金・社会保険料」の 17.5 ポイント、「光熱・水道費」の 16.0 ポイントとなっている。

一方、支出が減少した費目では、「旅行・レジャー・宿泊費」が最もマイナスとなり、マイナス 13.6 ポイント、次いで「衣料品・身の回り品費」のマイナス 10.9 ポイント、「食費（外食等の飲食費）」のマイナス 9.6 ポイントとなっている。

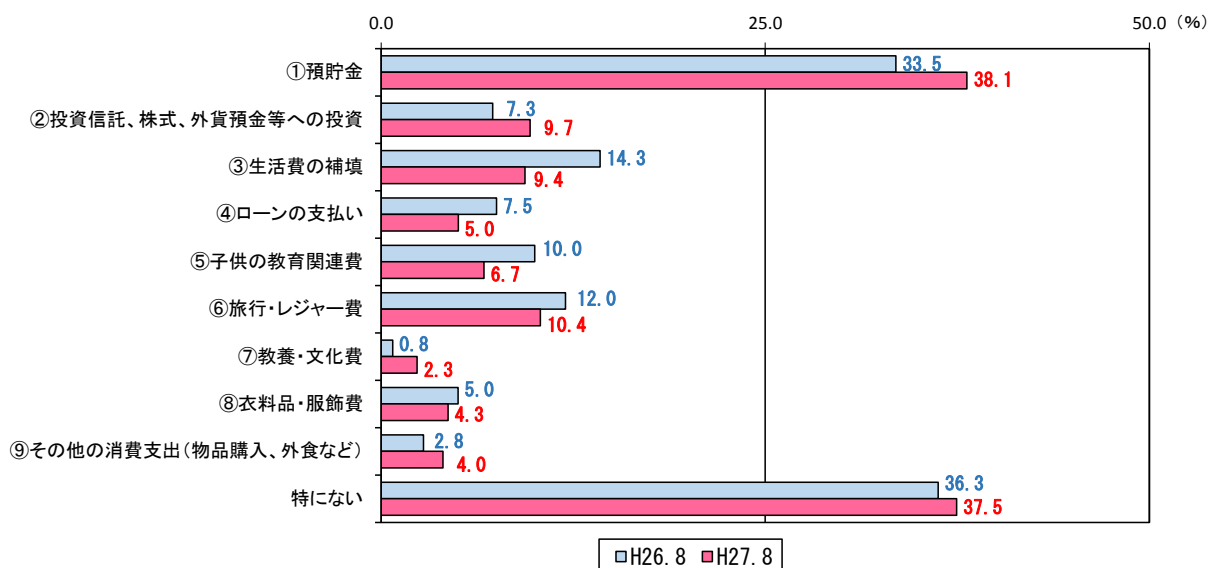


6. 今年の夏のボーナスの使い道 ～ 38.1%の人が預貯金を増やすと回答 ～

今年の夏のボーナスの使い道について、昨年（又は例年）と比べて、金額を増やしたもの（又は増やそうと思うもの）を尋ねたところ、「預貯金」が最も回答割合が高く 38.1%であった。預貯金同様に将来の備えとなる「投資信託、株式、外貨預金等への投資」は 9.7%であった。

その他、回答割合が高かったものは、「旅行・レジャー費」の 10.4%、「生活費の補填」の 9.4%、「子供の教育関連費」の 6.7%、「ローンの支払い」の 5.0%であった。

Q. 今年の夏のボーナスの使い道で、昨年(又は例年)と比べて、金額を増やしたもの(増やそうと思うもの)は何ですか。(複数回答可)



(注) 1. 調査対象はボーナス支給があった家計のみ。 2. H26.8は昨年実施した調査の結果である。

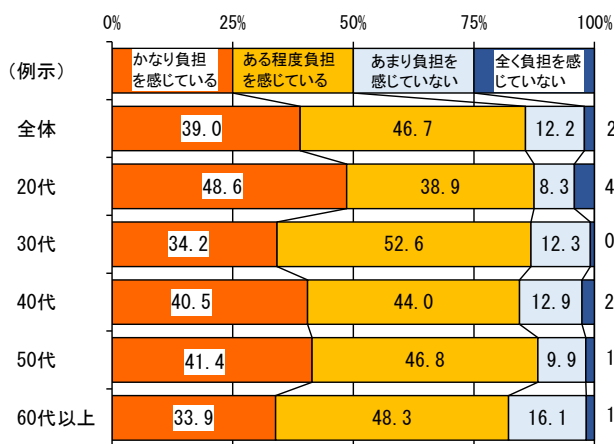
II. 「消費増税」について

1. 平成 26 年 4 月の消費増税に伴う家計の負担感について

平成 26 年 4 月に消費税率が 5%から 8%に引き上げられて 1 年が過ぎた。昨年の消費税率の引き上げが、現在どの程度、家計の負担になっているか尋ねたところ、「かなり負担を感じている」が 39.0%、「ある程度負担を感じている」が 46.7%に対して、「あまり負担を感じていない」は 12.2%、「全く負担を感じていない」は 2.1%であった。

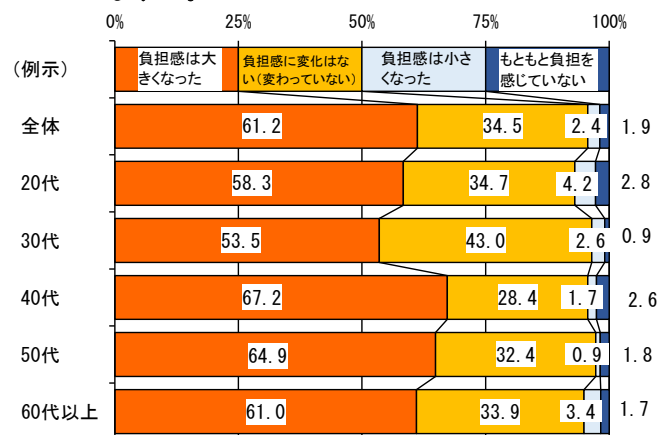
次に、現在の消費増税の負担感が、昨年 4 月の消費税率引き上げ当初と比べて変化があるかどうか尋ねたところ、「負担感は大きくなった」と回答した人の割合が最も高く 61.2%、次いで「負担感に変化はない(変わっていない)」が 34.5%、「負担感の小きくなった」が 2.4%であった。また、「負担感は大きくなった」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「増税分をカバーするほど収入が増えてきていないため」と回答した人の割合が最も高く 34.8%、次いで「増税分もそうであるが、ものの値段そのものが上昇しているから」が 28.3%、「収入が減ってきているから」が 25.8%であった。

Q. 昨年4月の消費税率の引き上げは、現在、どの程度、家計の負担になっていると感じますか。



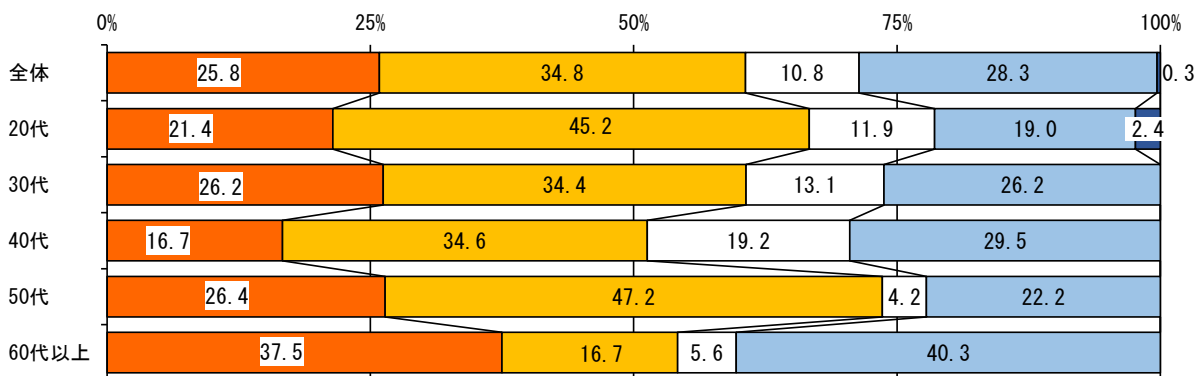
(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

Q. 消費増税による家計の負担感は、昨年4月の消費税率引き上げ当初と比べて変化がありますか。



(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

Q. 消費増税の家計の負担感が大きくなった理由は何ですか。最もあてはまるものを選択してください。



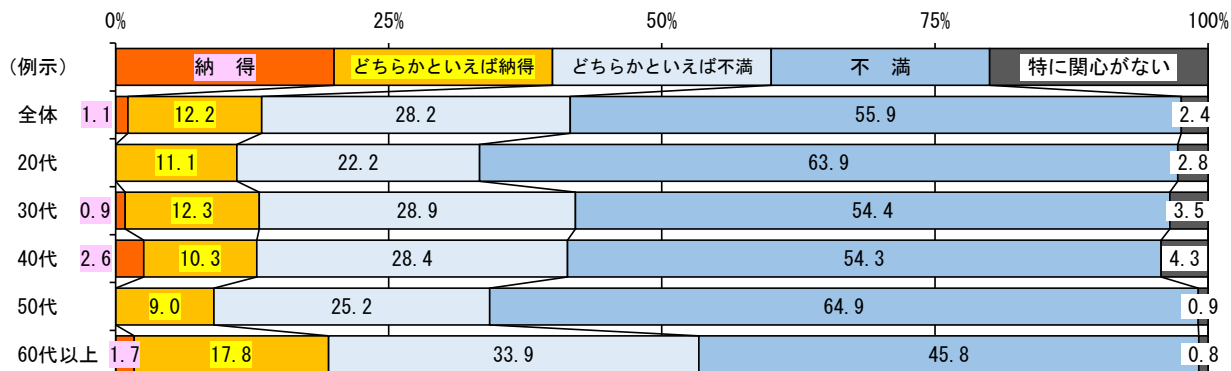
- 収入が減ってきているから
- 増税分をカバーするほど収入が増えてきていないため
- 家計の出費(消費増税分は除く)が何かと増えてきているから
- 増税分もそうであるが、ものの値段そのものが上昇しているから
- その他

(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. 平成 29 年 4 月の「消費税率再引き上げ」について

再来年の平成 29 年 4 月予定の消費税率 10%への更なる引き上げについて、現在どう思っているか尋ねたところ、「納得(1.1%)」、「どちらかといえば納得(12.2%)」と回答した人の割合は合計で 13.3%であったのに対して、「不満(55.9%)」、「どちらかといえば不満(28.2%)」と回答した人の割合の合計は 84.1%であった。

Q. 再来年の平成29年4月予定の消費税率の10%への更なる引き上げについて、現在どう思っていますか。



(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

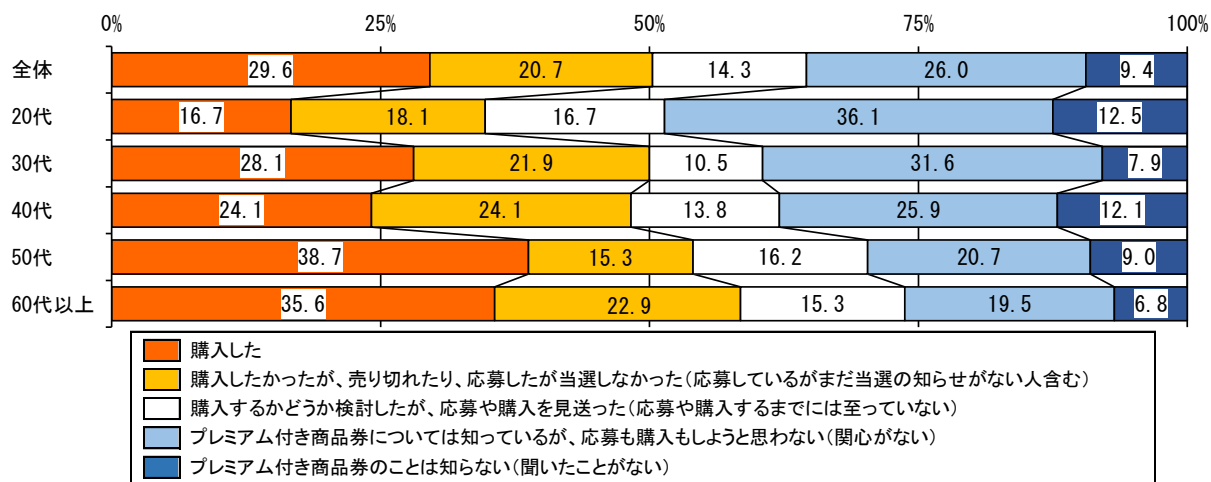
Ⅲ. 「プレミアム付き商品券」について

1. プレミアム付き商品券の購入状況

地域経済の活性化を目的として、新たな消費喚起を促すプレミアム付きの商品券が、国の交付金を活用して 2 割以上のプレミアムを付けて、今年、県内全市町で発行・販売され、その利用が始まっている。そこで、同商品券の購入状況について尋ねたところ、「購入した」が 29.6%、「購入しなかったが、売り切れたり、応募したが当選しなかった」も 20.7%であった。

Q. 地域内消費の喚起を目的とし、プレミアム付き商品券が、今年、香川県の全市町で発行・販売され、その利用が始まっています。お宅は今年、プレミアム付き商品券を購入しましたか。

※市町によっては無料配布したケースもありますが、その分は考えに含めずにお答えください。(以降同じ)

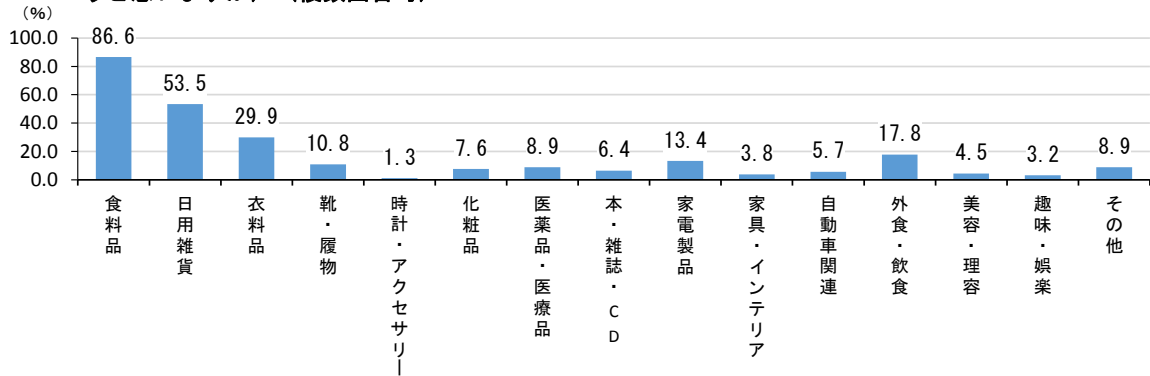


(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. プレミアム付き商品券で購入したもの

前述のプレミアム付き商品券の購入状況の質問で、「購入した」と回答した人に、購入したもの(予定含む)を尋ねたところ、「食料品」が最も多く 86.6%、次いで「日用雑貨」が 53.5%、「衣料品」が 29.9%、「外食・飲食」が 17.8%、「家電製品」が 13.4%であった。

Q. プレミアム付き商品券を利用してどのような商品・サービスを購入しましたか。(これから購入しようと思いますか) (複数回答可)

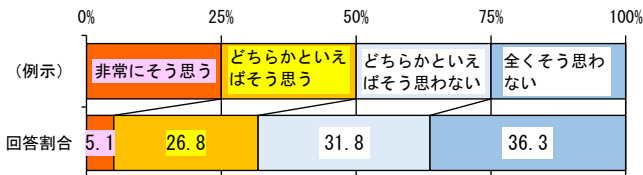


(注)プレミアム付き商品券の購入状況で「購入した」と回答した人(157人)が回答。

3. プレミアム付き商品券の効果

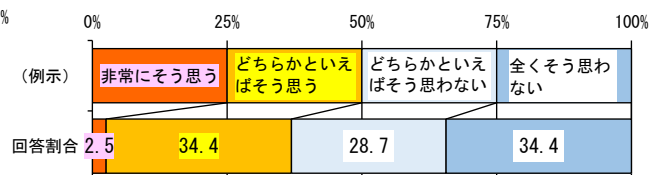
プレミアム付き商品券は、利用できる地域、店舗が限定されている。同商品券を購入したと回答した人に、普段であれば行かない店に行くきっかけになったと思うか尋ねたところ、「非常にそう思う (5.1%)」、「どちらかといえばそう思う (26.8%)」が合計 31.9%であった。「どちらかといえばそう思わない」は 31.8%、「全くそう思わない」は 36.3%であった。次に普段であれば買わない商品・サービスを購入するきっかけになったと思うか尋ねたところ、「非常にそう思う (2.5%)」、「どちらかといえばそう思う (34.4%)」が合計 36.9%であった。「どちらかといえばそう思わない」は 28.7%、「全くそう思わない」は 34.4%であった。

Q. プレミアム付き商品券の利用で、普段であれば行かないお店に行くきっかけになりましたか。(きっかけになりそうですか)



(注)プレミアム付き商品券の購入状況で「購入した」と回答した人(157人)が回答。

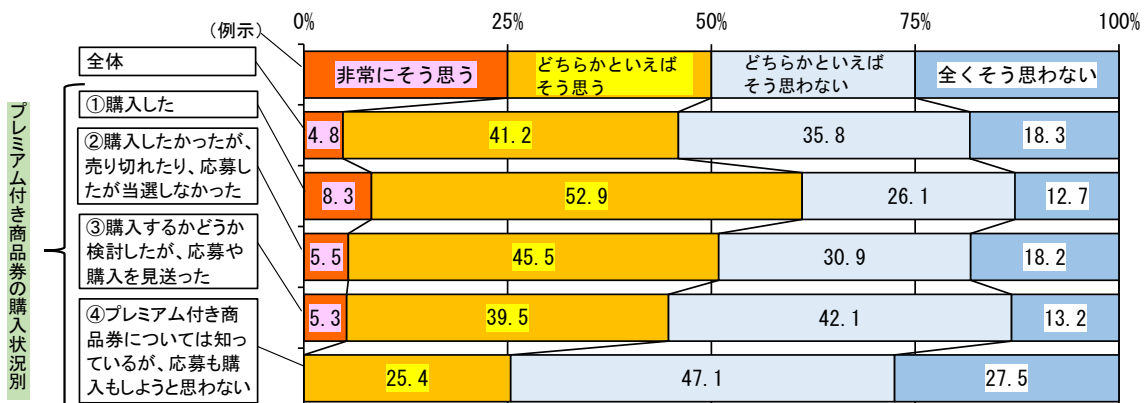
Q. プレミアム付き商品券の利用で、普段であれば買わない商品・サービスを購入するきっかけになりましたか。(きっかけになりそうですか)



(注)プレミアム付き商品券の購入状況で「購入した」と回答した人(157人)が回答。

プレミアム付き商品券を購入したと回答した人など、同商品券について知っている人に、同商品券が地域の消費喚起に役立っていると思うか尋ねたところ、「非常にそう思う (4.8%)」、「どちらかといえばそう思う (41.2%)」が合計 46.0%であった。「どちらかといえばそう思わない」は 35.8%、「全くそう思わない」は 18.3%であった。

Q. プレミアム付き商品券が、お住まいの地域内の消費の喚起に役立っていると思いますか。



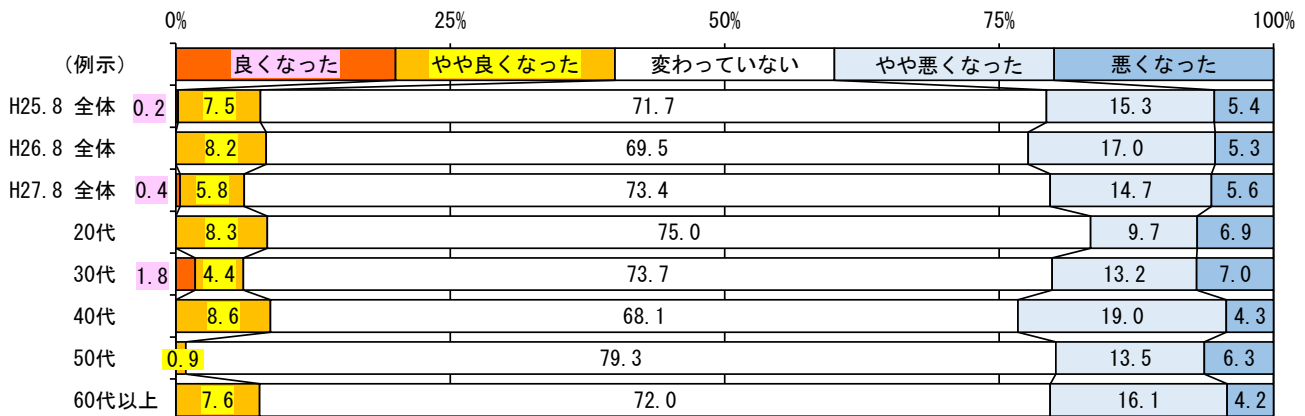
(注)四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

IV. 香川県内の景気について

1. 県内の景気（1年前と比べて） ～ 73.4%の人が「変わっていない」と回答 ～

香川県内の景気について尋ねたところ、1年前と比べて「変わっていない」と回答した人の割合が最も高く73.4%であった。また、「良くなった（0.4%）」、「やや良くなった（5.8%）」と回答した人の割合が合計で6.2%であったのに対して、「悪くなった（5.6%）」、「やや悪くなった（14.7%）」と回答した人の割合が合計で20.3%であった。

Q. 1年前と比べて、現在の香川県の景気は、良くなったと思いますか。悪くなったと思いますか。

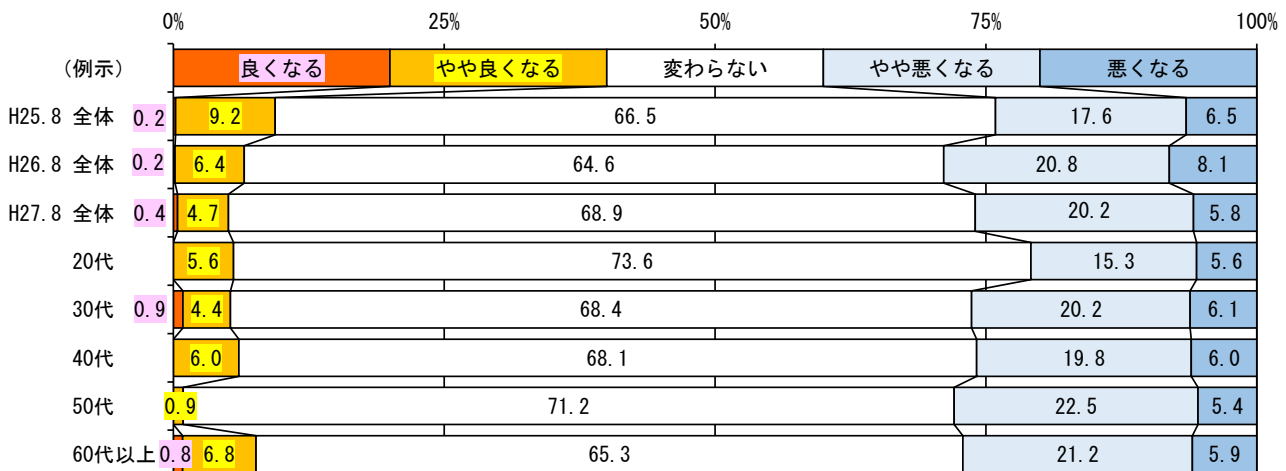


(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

2. 1年後の県内の景気 ～ 68.9%の人が「変わらない」と予想 ～

香川県内の1年後の景気について尋ねたところ、現在と比べて「変わらない」と回答した人の割合が最も高く68.9%であった。また、「良くなる（0.4%）」、「やや良くなる（4.7%）」と予想した人の割合が合計で5.1%であったのに対して、「悪くなる（5.8%）」、「やや悪くなる（20.2%）」と予想した人の割合が合計で26.0%であった。

Q. 1年後の香川県内の景気は、現在と比べて、良くなると思いますか。悪くなると思いますか。



(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

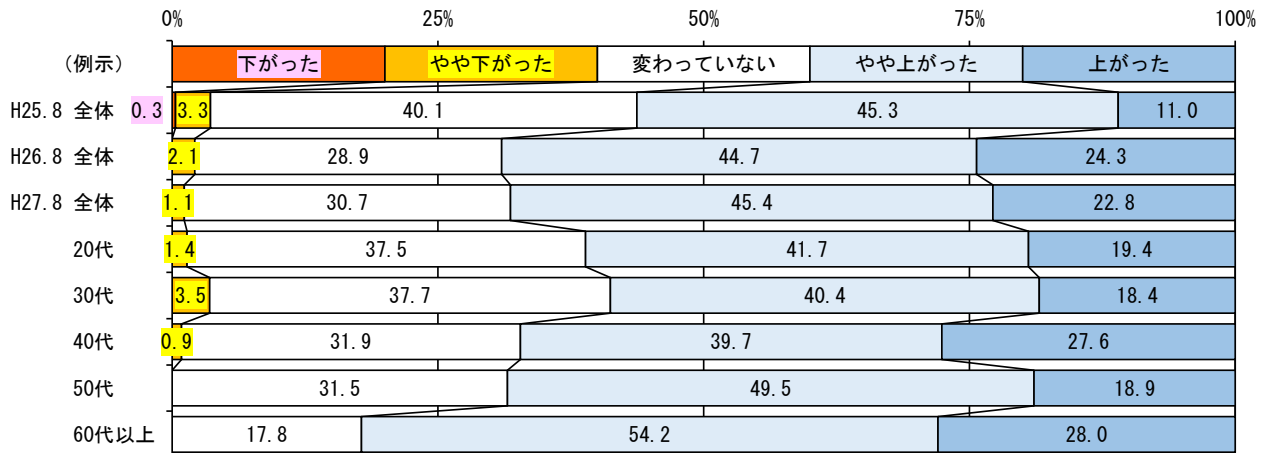
V. 物価について

1. 物価（1年前に比べて） ～ 68.2%の人が「(やや)上がった」と回答 ～

消費者物価について尋ねたところ、「上がった(22.8%)」、「やや上がった(45.4%)」と感じている人の割合が合計68.2%であった。「変わっていない」は30.7%であった。

年代別にみると、「(やや)上がった」と感じている人の割合が最も高かったのは60歳代以上で82.2%であった。

Q. 1年前と比べて、物価は下がったと感じますか、上がったと感じますか。



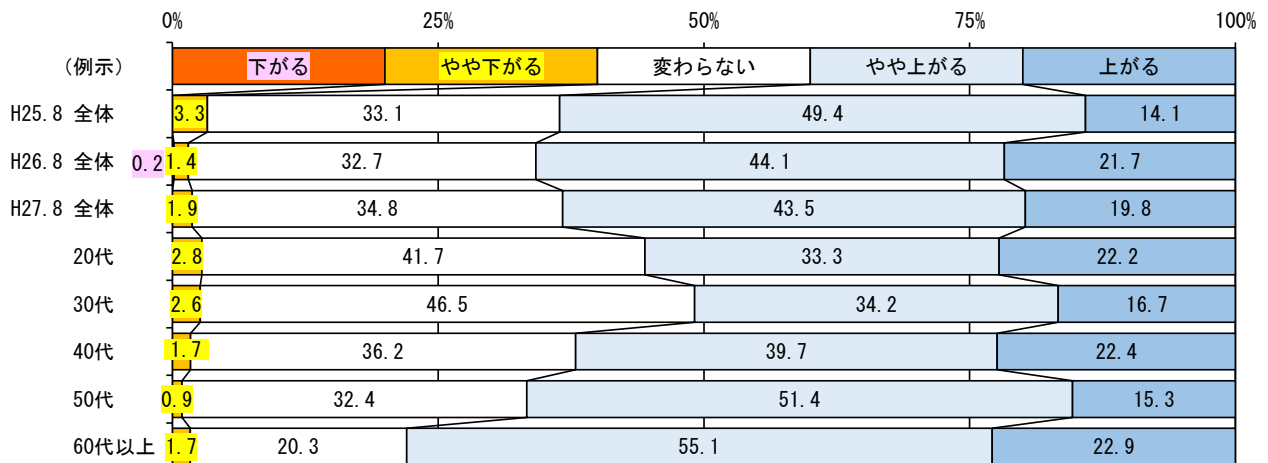
(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

2. 1年後の物価 ～ 63.3%の人が「(やや)上がる」と予想 ～

1年後の消費者物価について尋ねたところ、「上がる(19.8%)」、「やや上がる(43.5%)」と予想した人の割合が合計63.3%であった。「変わらない」は34.8%であった。

年代別にみると、「(やや)上がる」と予想している人の割合が最も高かったのは60歳代以上で78.0%であった。

Q. 1年後の物価は、現在と比べて下がると思いますか、上がると思いますか。



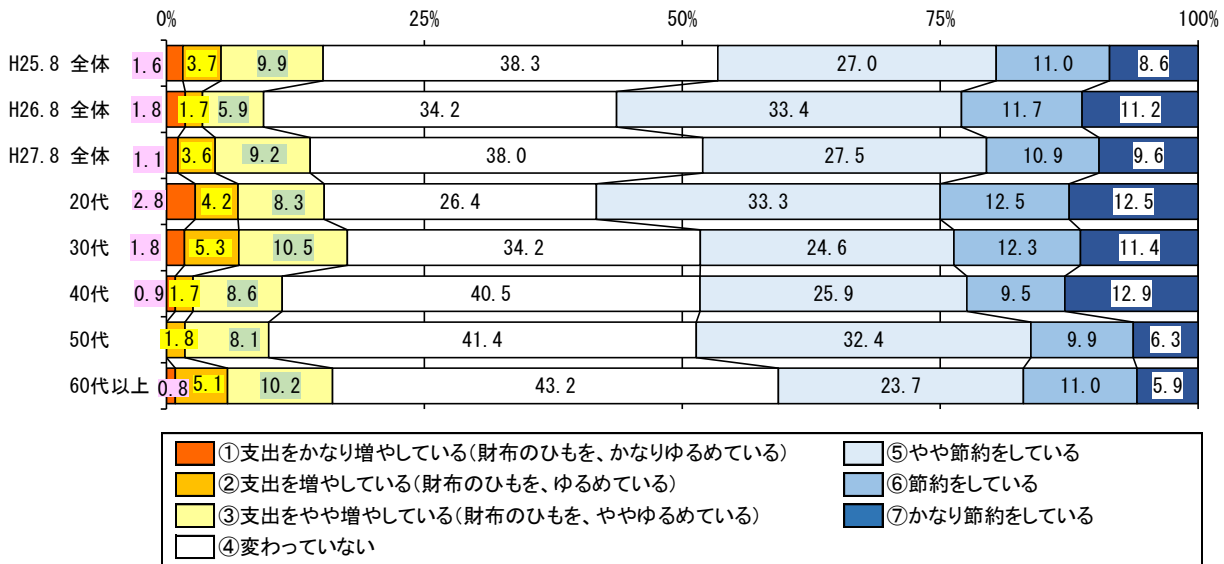
(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。 2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

VI. 消費行動について

1. 現在の消費行動（1年前に比べて） ～ 48.0%の人が節約をしていると回答 ～

現在の消費支出の仕方（お金の使い方）について尋ねたところ、1年前と比べて「かなり節約をしている(9.6%)」、「節約をしている(10.9%)」、「やや節約をしている(27.5%)」と回答した人の割合の合計が48.0%であった。

Q. 1年前と比べて、現在はどのような消費支出の仕方（お金の使い方）をしていますか。

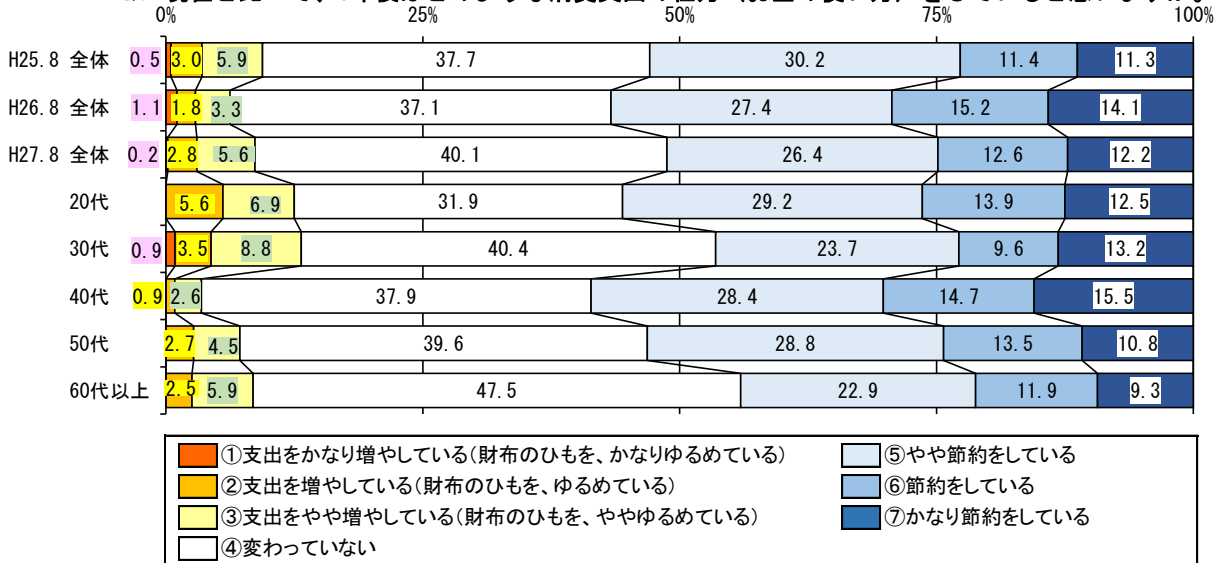


(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。

2. 1年後の消費行動 ～ 51.2%の人が節約をしていると予想 ～

1年後の消費支出の仕方（お金の使い方）について尋ねたところ、現在と比べて「かなり節約をしている(12.2%)」、「節約をしている(12.6%)」、「やや節約をしている(26.4%)」と回答した人の割合の合計が51.2%であった。

Q. 現在と比べて、1年後はどのような消費支出の仕方（お金の使い方）をしていると思いますか。



(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。2. H25.8、H26.8は過去実施した調査の結果である。